

新技術に関する講習を実施

～ 出前講座

「新技術発表会in岡山」～

(株)建通新聞社が主催した「新技術発表会in岡山」(令和5年3月6日)にて、『出前講座』(*1)として中国技術事務所職員が「中国地方整備局における新技術活用の取組み」について講習を実施しました。会場には、建設会社及び建設コンサルタントの社員等、約50名の参加がありました。

講習では、NETIS(新技術情報提供システム)のホームページでの検索方法や中国地方整備局で使用されている新技術の紹介などの説明を行いました。



*1 【出前講座】

皆様からのご注文に応じて、各種会議やイベント等に中国地方整備局職員がお邪魔して、川、道路等の取組みや専門知識を活かしたお話をお届けします。約330の講座があります。詳しくはホームページをご覧ください。



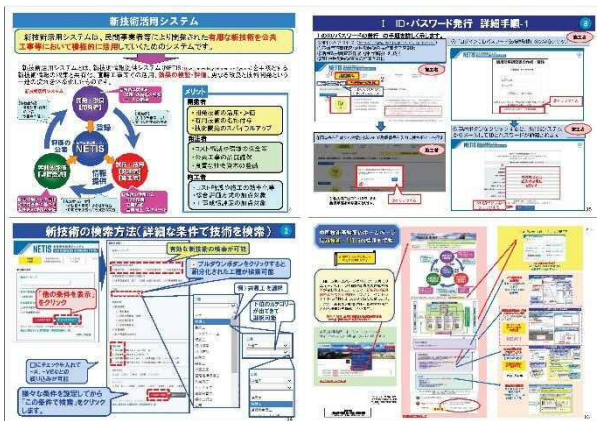
講習状況

主な説明内容

中国地方整備局における新技術活用の取組みについて

1. 公共工事における新技術活用促進の取組み
2. 新技術活用システムの概要
3. NETIS(新技術情報提供システム)の検索方法
4. 新技術活用効果調査表について
5. 新技術活用による施工者のインセンティブ
6. 新技術の活用状況(中国地整)
7. 参考

説明資料(抜粋)



講習状況

参加者の感想(アンケート用紙より)

- 新技術活用促進の取組み状況や近年のNETISの動向が理解できた。
- 加点対象技術が明確になっていると、採用技術を絞りやすい。
- 設計を行う時に、各工法について一覧表になっているものもあり参考になっている。
- さらなる新技術を取り入れて欲しい。



中国技術事務所
ホームページ(新技術)